

通訳の諸問題シンポジウム

* * 内容一覧 * *

★ 印はロシア語

1980年の第1回目の開催よりほぼ毎年、『通訳の諸問題シンポジウム』は、経験・技術の継承、知識・情報の蓄積・交換の場として、また通訳・翻訳家たちの連帯を確認し合う「年に一度のお祭り」として開催されてきました。その内容を羅列したリストをながめると、形式は「報告、講演、対談、パネルディスカッション、寸劇など」、内容も「通訳者の訓練方法や日頃の自己学習法、通訳現場での体験談や通訳テクニック、顧客との関係や理想的通訳者像の考察など」と、実に盛りだくさんであることに驚かされます。

参加出来なかった方やこれからプロの通訳・翻訳者を目指す方に役立てていただけるよう、ロシア語通訳協会の財産ともいえるそれら過去のシンポジウムの録音テープと資料を安価にて販売いたしております。どうぞご利用ください。

第1回通訳の諸問題シンポジウム：1980年

- 「通訳問題の観点から見たロシア語通訳」 新田実
- 「会話からスピーチへ」 徳永晴美
- 「通訳者の養成と訓練 — 特に数詞について」 中川研一
- 「日本におけるロシア語ガイド通訳」 片倉正晴

第2回通訳の諸問題シンポジウム：1981年

- 「日ソ関係の現状と展望から見たロシア語通訳の需要」 毛利晃
- 「技術通訳への道 — 特にコンピュータをめぐって」 小林満利子
- ★「ガイド通訳のノウハウ」 橋盛彦
- 「同時通訳の基礎テクニックおよび諸困難」 徳永晴美

第3回通訳の諸問題シンポジウム：1982年

- 「露日逐次通訳の諸困難と対処法」 児島宏子
- 「通訳者のマナー、雇う側が通訳者に求めるもの」 小松達也
- ★「ソ連式同時通訳訓練を受けた体験から」 サプリン
- ★「通訳者の自己学習法」 ストリジャック

第4回通訳の諸問題シンポジウム：1983年

- 最近の日ソ関係とロシア語学習の展望
- メモの取り方について（英語通訳者の体験から）
- ★日本人ロシア語通訳者がおかしやすい誤り
- ★同時通訳訓練法

第5回通訳の諸問題シンポジウム：1984年

- 「理想的通訳者像」 草柳益和
- 「ロシア語通訳の現場から」 徳永晴美
- 「顧客との関係」 小川章一

第6回通訳の諸問題シンポジウム：1985年 『経験の継承をめざして』

- 「外交とロシア語」 西田勝次
- 「語学教育と通訳の間」 宇多文雄
- ★ゲスト報告 A. B. クリフツォフ

第7回通訳の諸問題シンポジウム：1986年 『通訳と語学力』

- ★「ソ連人から見た日本人通訳のロシア語」 A. B. クリフツォフ
- パネルディスカッション「語学力と通訳能力」
-

第8回通訳の諸問題シンポジウム：1987年 『準備と本番』

- ★「通訳としての準備以外の準備」 A. B. クリフツォフ
- パネルディスカッション「準備と本番」

第9回通訳の諸問題シンポジウム：1988年 『より良き日ソ・コミュニケーションのために』

- 「日ソ交渉術」 森本忠夫
- ★「日露同時通訳の諸問題」 ストリジャック
- ★「美しい話し言葉」 サフチェンコ

第10回通訳の諸問題シンポジウム：1989年 『総集編』

- 「翻訳私論」 牧野守雄
- 「これからの添乗員」 田中かな子
- 「常に準備を」 三浦みどり
- 「劇場芸術通訳者の倫理」 五月女道子、宮澤俊一
- 「大学は通訳者養成の場ではない」 宇多文雄

第11回通訳の諸問題シンポジウム：1990年 『ロシア語通訳を取り巻く新しい状況』

- 報告1, 2, 3 月出皎司、小川章一、小宮山俊平
- ★「欠点の発見とその克服法」ブランギンスキー
- 「通訳者のランキング」石井武司

第12回通訳の諸問題シンポジウム：1991年 『競争と連帯』

- 「問題提起」 徳永晴美
- 「こんな通訳に頼みたい」 菊次厚子
- ★「日本人ロシア語通訳者にありがちな欠点」 V.ノボセリツェフ
- ゲストスピーチ（仏語・中国語・朝鮮語通訳者）

第 13 回通訳の諸問題シンポジウム：1992 年 『窮地脱出法』

- 寸劇：劇団そまつ座公演
- ★ゲストスピーチ「ソ連邦の死滅…では、その後にくるものは？」

第 14 回通訳の諸問題シンポジウム：1993 年 『人民通訳者大会－過渡期の課題と展望』

- 劇団・そまつ（ソ末）座プロデュースによる観客総動員の討論劇
- ★ゲストスピーチ「ロシア経済改革の行方」 ツェリシェフ

第 15 回通訳の諸問題シンポジウム：1994 年 『許せる裏切り、許せない裏切り』

- 「基調報告」 近藤正臣
- ★「外交官の通訳経験」 M. ガルージン
- ディスカッション
- 「ジリノフスキー現象を考える」 末富丈夫

第 16 回通訳の諸問題シンポジウム：1995 年 『外国語で稼ぐ 3 つの方法－通訳、翻訳、教育』

- 「私の翻訳観と翻訳作法」 辻由美
- ★「通訳体験と教授法」 スリジャ&宇多文雄
- 「独裁がやってくる！」（漫談） 月出皎司

第 17 回通訳の諸問題シンポジウム：1996 年 『神は細部に宿る。悪魔も…』

- 「あえて通訳、翻訳の重箱の隅をつつく－外的言語学的そぞろ歩き」 徳永晴美
- 「NIS 諸国は、どうなっているのか？」 秋野豊

第 18 回通訳の諸問題シンポジウム：1997 年 『通訳能力は測定可能か』

- 「サイマル式通訳者の能力査定とランキング」 小松達也
- ★「ロシア語通訳検定試験の試み」 Власов

第 19 回通訳の諸問題シンポジウム：1998 年 『これからが本番の日口関係 — 通訳者よ、用意はいいか？』

- 講演 1：「小姑は口うるさいのだ」 米原万里
- 講演 2：「聞いておいても損にならない話— порядок и стихийность」 袴田茂樹

第 20 回通訳の諸問題シンポジウム：1999 年 『ロシアはどうなる？－通訳者生存の道は？』

ロシア語界論客勢ぞろいのトークバトル』

- 第 1 部：日口関係、ロシア、ロシア語、ロシア語通訳の将来は？〈あなたは悲観派？それとも楽観派？〉
- 第 2 部：良い通訳、悪い通訳？プロとは？アマとは？〈あなたは悲観派？それとも楽観派？〉

第 21 回通訳の諸問題シンポジウム：2000 年

- ★講演 1：「エリツィン時代の総括/プーチン 新大統領の船出」 ソンツェフ
- 講演 2：「日口関係の展望と極東開発」 吉田進
- 講演 3：「日本人のロシア語のウィークポイント」 原ダリア

第 22 回通訳の諸問題シンポジウム：2001 年

- 講演 1：「通訳者・コミュニケーターに必須のロシア文化論」 村田真一
- 講演 2：「通訳者の 5 つの原罪と十戒について」 徳永晴美

第 23 回通訳の諸問題シンポジウム：2002 年

- ★講演：「創設から 10 年経過後の CIS 及びロシアが抱える諸問題と展望」 Головнин
- 通訳・翻訳者によりパネルディスカッション：ソ連解体から 10 年、仕事内容や条件はどう変化したのか？

第 24 回通訳の諸問題シンポジウム：2003 年 『異文化コミュニケーションの最前線で』

- ★講演：「『ロシア語会話とささのひとこと辞典』をネイティブ・チェックして—教科書や辞書では分からない言葉に秘められた文化」 名田スヴェトラナ
- 経験交流会：「私の異文化体験」 議題提起 米原万里
- ★「通訳者・翻訳者のためにロシア語学習法と教材」—来日中のロシア語教育専門家を困む会—

第 25 回通訳の諸問題シンポジウム：2005 年 『設立 25 周年記念シンポジウム』

- ★講演：「日露関係 150 年」 サルキソフ
- 講演：「最初の露日辞典を作ったゴンザ」 井桁貞義
- 参加者討論会：「通訳者として辞書を考える」 司会 米原万里